

平成 28 年度

河川教育研究交流会

平成 27 年度 河川基金助成 学校部門 成果発表会

「水」を素材とした教育的価値の創造

学校教育の中で、「川」や「水辺」を活用した様々な体験活動等を行うことで、児童は発達段階に応じた能力を身に付ける事ができます。

本河川教育研究交流会では、学校現場における河川教育の先進的な事例の発表等を行い、関係者間の情報交流等をはかります。

平成 29 年
2月 4日
土曜日



【開催場所】

東京大学 山上会館「2階・大会議室」

(東京都文京区)

コーディネーター

関西福祉大学 発達教育学部 児童教育学科
金沢 緑 教授

公立小学校校長、他大学兼任講師などを経て現職。理数系教員養成拠点構築事業委員 (JST)、FSTA (Future Science Teacher Association) 会長、文部科学省中央教育審議会理科専門部会委員など歴任。NPO 法人川に学ぶ体験活動協議会 常任理事

講評

白百合女子大学 人間総合学部 初等教育学科
神永 典郎 教授

茨城県日立市教育委員会指導主事、日立市立大久保小学校教頭を経て、2010年より白百合女子大学文学部児童文化学科児童文学・文化専攻准教授、2015年より教授、2016年より現職。生活科教育研究会 会長
日本生活科・総合的学習教育学会 常任理事



公益財団法人

河川財団

本発表会は、土木学会継続教育 (CPD) プログラムに認定されています。

5

単位



河川基金

後援
(順不同)

文部科学省、国土交通省

全国小学校社会科研究協議会、全国小学校理科研究協議会、全国中学校社会科教育研究会、全国中学校理科教育研究会、全国小中学校環境教育研究会、日本初等理科教育研究会、生活科教育研究会

河川財団の運営する「河川基金」では、河川に関する様々な調査・研究、市民団体等の川づくり団体が行う河川への国民の理解を深める活動、学校教育の現場において河川・流域を通じて環境・防災・歴史文化等を学習する河川教育の支援を続けています。

その取組の一環として、河川教育に取り組む小・中学校等への助成の成果を発表・紹介するための研究交流会を開催しております。本研究交流会が、教育関係者、市民団体、関係機関等の皆さまにとって貴重な情報共有や人的交流の場となり、一層の活動促進に資することを目指しています。

開催日 平成29年2月4日(土)

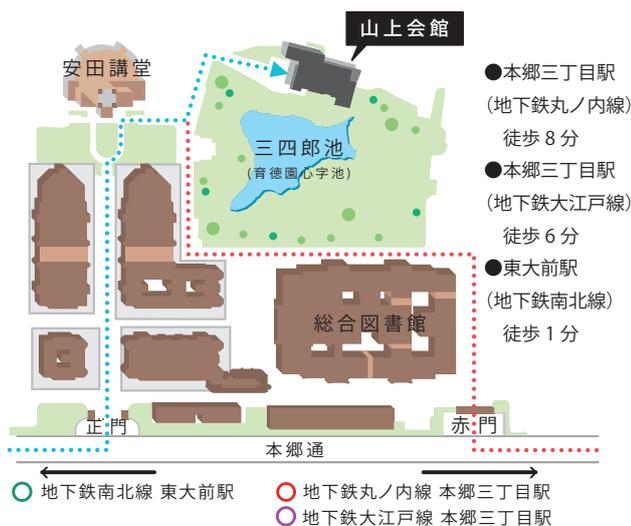
会場 東京大学 山上会館
(東京都文京区本郷7丁目3-1)

定員 100名(参加費無料)

参加対象 河川教育に関心のある小・中・高等学校の先生、市民団体、行政関係者等の方々

主催 公益財団法人 河川財団

アクセス



本発表会は、土木学会継続教育(CPD)プログラムに認定されています。(5単位)

お問い合わせ先



〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町11-9
住友生命日本橋小伝馬町ビル2階 基金事業部
☎ 03-5847-8303 (FAX) 03-5847-8309

<http://www.kasen.or.jp/kikin/>

申込方法

ホームページの申込フォームにて受付しております。

プログラム(予定)

プログラム及び発表者等は変更となる場合があります

- 9:30 主催者挨拶 (公財)河川財団 理事長
- 9:35 来賓あいさつ
国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課長
- 9:45 発表・パネルディスカッション
『河川教育の新展開(仮)』
コーディネーター: 関西福祉大学 金沢 緑 教授
- 発表・パネラー: 平成27年度助成校 6校
・(東京都)大田区立嶺町小学校
・(神奈川県)川崎市立上丸子小学校
・(京都府)京都市立池田小学校
・(島根県)吉賀町立六日市中学校
・(福岡県)北九州市立すがお小学校
・(熊本県)宇城市立海東小学校
- 11:45 昼休み
- 12:45 ポスターセッション
平成27年度河川基金助成(学校部門)の事業実施校によるポスター展示発表(全体で30校程度を予定)
前半(奇数番号)と後半(偶数番号)の二部構成
- 14:30 『学校における国際水教育プログラムの活用』
(公財)河川財団 子どもの水辺サポートセンター
- 14:50 講評等
白百合女子大学 神永典郎 教授
- 15:10 表彰式
(平成26年度助成事業「学校教育部門」優秀成果)
- 15:30 閉会 (公財)河川財団 理事